



立志 鍛錬 協調

令和6年9月25日号

立三中

立川市立立川第三中学校
Tachikawa Daisan J.H.School

だより

You can Never be too Prepared (備えあれば…)

校長 今本 由美子

9月も終盤になり、やっと長かった夏も終わりを告げているようです。一昨年より昨年、そして今年と、猛暑、酷暑は年を追うごとにその厳しさを増しているように感じます。また、豪雨に起因する深刻な災害も発生しています。自身や周囲の人の健康や身の安全を守る術を身に付けておくことが、これまで以上に必要となっています。

さて、三中では毎年9月に「立川市民科 三中防災の日」の取組を行っています。今年は、14日(土)に実施しました。当日は、学年ごとにプログラムを組んで、防災に関する様々な学習に取り組んでいます。1時間目は、全学年共通で防災ノートを活用し、首都圏直下地震における被害想定から、大地震発生時の行動を考えました。2時間目と3時間目は学年ごとのプログラムで、3年間で様々な学習ができるようになっています。

1年生は、2時間目に、避難所設営の際に必要な、仮設トイレと仮設テントの組み立て訓練を行いました。3時間目には、羽衣町自治会の皆さんと青少年赤十字防災教育プログラムから、『自分だったらどうする』に取り組みました。2年生は、2時間目に、錦町自治会の方による防災講話、3時間目は災害発生時のシミュレーション『クロスロード』に錦町自治会の皆さんと一緒に取り組み、意見交換を行いました。3年生は、NPO法人 首都圏防災士連絡会の皆さんにご協力をいただき、防災講話、身近なものを使った応急処置や疾病者の搬送方法などを学びました。ご参加くださった皆さま、本当にありがとうございました。



また、9月4日(水)には、2年生が救命救急講習を受講し、「救命技能認定証」が交付されました。日頃からの備えがいざというときに自分や自分の大切な人たちの命を救うことに繋がっていきます。タイトルにも書いたように、こうした準備に「十分すぎる」ということはありません。定期的に見直したり、練習をしたりして、いつでも実践できるようにしておくことが大切です。学校での訓練や学習の他、家庭での備蓄品や避難場所の確認、また地域の訓練等への参加など、日頃からいざというときに備えていきましょう。

※「You can never be too prepared.」は、「どんなにしても準備をしすぎるということはない」という意味。

放課後学習教室(SSR)

9月17日(火)から「放課後学習室」通称「SSR」(三中 Study Room)が開設されました。定期考査前の一週間、放課後の時間を活用し、学校の学習室でテスト勉強を進める取り組みです。1学期に引き続き、『学習サポーター』として都立立川高校の生徒が来てくれました。分からないところや、学習の進め方など、様々なアドバイスをもらうことができました。



(9/19)立会演説会

9月19日(木)の6校時、新しい生徒会本部役員と専門委員長を決める立会演説会が体育館で行われました。立候補者、推薦者ともに立派な演説でした。



聞いている生徒からも真剣さが伝わってきました。



9月25日(水)から後期の委員会がスタート

します。これまで三中をリードしてくれた3年生に変わり、新しく委員長となった2年生が中心になります。これまでの三中の良さを引き継ぎながら、新しい取り組みに挑戦してください。

三中生の活躍

★吹奏楽部

第64回 東京都中学校吹奏楽コンクール B組 金賞



★バレーボール部

立川市民体育大会 男子 優勝
女子 優勝



★陸上部

立川市民体育大会 女子中学共通 1500m
立川市民体育大会 女子中学共通 80mH
立川市民体育大会 男子中学3年 100m
立川市民体育大会 男子中学共通 200m
立川市民体育大会 男子中学1年 4×100m



★薬物乱用防止標語 会長賞

佳作

★薬物乱用防止ポスター 佳作

